

四季の歌

俳句・短歌教室の詠歌紹介

給いたる千柿に亡母思ひ出す柿を吊せし日だまりの縁
娘の部屋に残りしままの古ピアノ「枯葉」を弾かむ秋は夕暮れ
ピラカンサ紅の実鈴なりに「ごちそうですよ」と鳥を呼びをり
凌久ちゃんは日増しに知恵つき寝返りを打ちてにっこり笑ってみせる
島原の子守歌流るる船上に普賢岳遠くならてかすめり
コウロギの鳴き声聞けば冬支度今年もそろそろ季の到れり
妻が来て勤め帰りの娘来て親子三人病室あかるき
鎌倉の武者もかくあらむ流鏑馬の射手は的板つぎつぎ射抜く

桑野 昭子
村上 美幸
三村 和子
福田キヨ子
高村 三也
越智 早苗
八代 範夫
福田 昌

はな・高齢者大学句会

池田一步選

熱気球風に引かれて秋空へ
啄木鳥の音の忙しき日暮れかな
暖房をもう消す時間床につく
顔の希望尚あり種を採る
田を隔て彼方に聞こゆ里祭り
亡き夫の植ゑたる菊の咲き始め
鮮やかや真澄の空の植紅葉
錫杖と落葉踏む音させ行者
風立ちて芒ヶ原を動かしぬ
ままごとの記憶の端の柿紅葉
黄昏を拒んでをりし石路の花

高津 澄子
千手 弘子
福島ソマ子
熊谷カツミ
馬部 京子
日高八重子
松本みつを
山本ひろし
香月 眸
宮崎富美子
小場 妙子

福智町金田公民館俳句教室

岩井鬼童選

葛咲くや水美しき和紙の里
虫の音が最後のお客無人駅
山粧ふ三々五々の陶器市
役終へて畦に寝転ぶ紫山子かな
風に揺れ夕日に浮かぶ芒かな
人恋し桜紅葉の駅舎かな
笛の音に背筋を伸ばす運動会
死ぬること忘れてるたり栗の飯
風の声水のこも聴き秋惜しむ

建部三由紀
西田 真美
松岡 蔦枝
安田 健一
岩井 童子
桂 啓子
新 芳枝
加藤きみ子
小野 美幸

方城句会

池田一步選

駅前のカメラ屋一軒暮早し
口切りに趣向をこらし鹿威
そそくさと急ぐ夜道や霜の声
坪庭の句碑を囲んで石路の花
花八手白はつきりと陰ながら
日溜りを知らせるごとく冬の蝶
地に生きる人に幸あれ豊の秋
晩秋の野に白鷺の遊ぶかな
秋耕や有明月のかかりをり

尾崎 和子
木村 誠一
倉石 小夜
白石 凡子
杉 フジエ
長尾 冨子
藤井耿之介
山本恵美子
渡邊 一枝

福智の風

▶きらきら輝くプリの魚体、新鮮さを誇示するように逃げるタコ、桜色が鮮やかなタイ…。取材で伺った筑豊魚市場(PI-7)。これほどカメラ魂をくすぐる光景を、恥ずかしながら知りませんでした。広報としてまちと向き合っているつもりでしたが、まだまだ知らないことばかり。まちをPRする前線に立てるよう、今後の行動を改めたいと思いました。(相原)

▶今年も大盛況だった福智のメインイベント(P8-11)。初めて運営側に携わってみて、イベント成功の裏には関係者の熱意や、大きな信頼関係があることを強く感じました。これだけ大規模な催しを民間委託ではなく、行政職員中心のスタッフが協力して行うからこそ、福智らしさを生かした魅力的なものになり、多くの人の心を動かすのだと思います。(黒崎)

写真が語る
なれの写真館



家畜品評会
提供者●福田 昌さん
撮影日●昭和30年頃

田川市で行われた家畜品評会に町内からも出品。体形や体質などの飼育成果を競いました。家畜の優劣を競うだけでなく、家畜に感謝し、改良を学ぶには絶好の場だったようです。

昔の写真を探しています！
岡 総務課広報・広聴係
☎22-0555

まちの図書だより

「図書館・歴史資料館準備室」
からのお知らせ No.7

ご利用ください。まちの図書室

本の情報と紹介

中央公民館図書室 ☎28-4100
(福智町赤池 970 番地 3)

開室時間/9時～17時
休室日/毎週④・毎月第3④・⑤・年末年始
蔵書整理期間(不定期)
貸出期間/2週間[1度に1人5冊まで]

年末年始の休室

12月28日④～1月4日⑤の期間、中央公民館図書室は休室です。今年最後の開室日は12月27日④です。今年も図書室をご利用いただきありがとうございました。来年もどうぞご利用ください。

Le f ' s r e a d !

まちの図書司書セレクション

『ラプリー オールド ライオン』

文/ジュリア・ジャーマン 絵/スーザン・バーレイ
出版/フレーベル館



賢くて優しい王様ライオンだったレニーのおじいちゃん。でも、ある時からだんだん忘れんぼうになってしまい…。「認知症」になったおじいちゃんと、変わらずに愛し続ける孫や友人たちとの交流を描いた翻訳絵本です。

『鶴の家』

著/廣嶋 玲子
出版/東京創元社

ときは明治末期から大正時代。豪商「天鶴家」を舞台に、勇敢な少女茜が臆病な後継ぎの少年鷹丸を助け、何百年も続く呪いを打ち破ろうとする物語です。気鋭の著者による傑作時代ファンタジーをお楽しみください。



新たな“まちの拠点”を広く発信



→スイーツ大茶会で新たな図書館・歴史資料館をPR。

中学生発のプロジェクトチーム「ふくトラ」が10月25日、「スイーツ大茶会」と「上野焼秋の窯開き」の会場で新しい図書館・歴史資料館のPR活動を行いました。上野焼秋の窯開きの会場では鳥越館長と一緒に壁新聞や模型を使って、会場に訪れた人に新しく出来る図書館・歴史資料館建設の“今”を説明。他にもインタビューを行ったり、チラシを配ったり、約400年前の上野焼の陶片を使って手作りしたトートバックを販売したりしながら福智の魅力をPRしました。スイーツ大茶会の会場では会場内のステージに立ち、福智町に新しく図書館・歴史資料館ができることや、それを応援するための活動を伝え、まちの未来を広く発信しました。今月からは壁新聞「ふくちから」を町内各所に配布し、ふくトラメンバーの思いをお届けします。

図書室 年末年始の貸出について

貸出を3週間に延長します！

12月15日④～19日⑤に本を借りた場合、返却日が年末年始にかかってしまうため、この期間のみ貸出期間を3週間に延長します。また、貸出冊数も10冊までに増やします。新年は気持ち新たに「事始め」をするのに絶好の機会。読書が好きな人も、今まで本を読む習慣があまり無かった人も、図書室を活用して読書を試してみませんか。



3週間に延長

年末年始は二週間長く借りられます。この機会にぜひ図書室をご利用ください。

10冊までOK